

癌化学療法レジメン

n ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

レジメン名 **PCE療法(転移・再発)**
 対象疾患 再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌
 診療科 _____
 施用者 _____

24h・Ccr: _____ mL/min
 ↑
 カルボプラチンの投与可能量算出のため
 クレアチニンクリアランスの24時間値を入力してください。

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
day1、8					
①	生食	250mL			血管確保とフラッシュ用
②	グラニセトン バッグ	3mg/50mL(1袋)		混注	15分かけて
	デキサート	6.6mg/2mL(2A)			
	ファモチジン	20mg/20mL(1A)			
	ポララミン	5mg/1mL(1A)			
③	アービタックス	400mg/m ² (初回)		生食500mL	2時間かけて
		250mg/m ² (2回目以降)		生食250mL	1時間かけて
④	パクリタキセル	100mg/m ²		生食250mL	1時間かけて
⑤	カルボプラチン	AUC2.5 × (24h・Ccr+25)		生食250mL	1時間かけて
day15					
①	生食	250mL			血管確保とフラッシュ用
②	デキサート	6.6mg/2mL(2A)		生食50mL	15分かけて
	ポララミン	5mg/1mL(1A)			
③	アービタックス	250mg/m ²		生食250mL	1時間かけて

2 投与方法の図式(day1)

時間 (hour)	1	2	3	4	5
①生食				→	
②グラニセトンなど	→				
③アービタックス		→			
④パクリタキセル			→		
⑤カルボプラチン				→	

3 投与スケジュール

1クール21日間。最大6コースまで(アービタックスはその後も継続可)

4 特記事項

- ・ パクリタキセルはアルコールに過敏な方には慎重に投与。
- ・ パクリタキセルはnonDEHPのルートで点滴を行う。
- ・ パクリタキセルの投与の際はインラインフィルター(0.22 μm以下)を使用すること。
- ・ アービタックス単独時は投与終了後少なくとも1時間は血管確保の生食を継続し、経過観察。
- ・ パクリタキセルを投与の際は投与速度を補正する。